

令和 5 年度

事業報告書

社会福祉法人 敬愛会

## 令和5年度事業報告

社会福祉法人敬愛会  
特別養護老人ホームきりしまの園  
ユニット型特別養護老人ホームきりしまの園  
きりしまの園デイサービスセンター  
きりしまの園ヘルパーセンター  
きりしまの園居宅介護支援事業所  
のじり地域包括支援センター

令和1年12月、中国武漢市で発生した新型コロナ感染症は、僅か数ヶ月でパンデミックという言葉で称されるほどの世界的な流行となりました。日本国内でも、翌年1月15日に最初の感染者が確認され全国に拡大していきました。新型コロナ感染症による死者は、これまで世界全体で700万人、国内でも10万人を超えていました。発生から4年半が経過した今でもなお感染は拡大し続けていますが、新たな変異株であるオミクロン株は重症化のリスクが低いというデータ結果を基に、昨年5月、感染症法の位置づけが『2類』から『5類』に引き下げられ様々な規制が解除されました。しかしながら、県内の定点医療機関における1週間あたりの感染者数は今でも3名程度報告されており、未だ終息している状況にはありません。高齢者介護事業所では、入居者（利用者）の殆どが虚弱な上に基盤疾患を抱えており、感染による重症化のリスクは依然と変わらず、常に緊張した状況に置かれています。

感染予防のために、家族との面会や園外への外出禁止など行動が制限されてきたことで、入居者の中には精神的に不安定になる方もおられ、認知症が進むケースも見られました。感染状況を見ながら家族との面会（窓越し面会や距離を置いての対面での面会）や事業所内での行事や諸活動にも取り組みましたが、入居者・ご家族に満足して頂けるようなところまでには至りませんでした。次年度においては、感染対策をとりながら家族との面会や外出等が更に緩和できるように取り組んでいきたいと考えています。

事業運営面では、昨年度、感染拡大により殆どの事業が厳しい経営状態に追い込まれた中で、本年度は感染対策を講じながら業績回復に向けて取り組みました。感染者が出た場合には、接触の度合いに応じて簡易検査や利用中止などの対策を取りながら事業を継続しました。職員本人及び家族の家庭内での感染も頻繁にみられましたが、自宅待機を徹底することで事業所への二次感染はありませんでした。これまでコロナ感染症の影響を最も受けた通所介護事業や短期入所事業については、コロナ感染症発生前の令和1年度の実績を超える程までに回復してきました。法人全体での利益率も4.2%となり必要収益を確保することができました。介護支援専門員や居宅事業職員による地域連携室や居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等への定期訪問や情報提供が結果に表れたと考えられます。

コロナ感染症は施設運営にも影響を及ぼしていました。事業所内での会議等についてはほぼ計画通りに実施できたものの、職員研修については一堂に会しての研修は実施できずにオンラインでの研修となりました。職員交流は、チームケアを行う上で重要な役割を担っていますが、感染症発生以降、事業所内での会議や研修について規制せざるを得ない状況が続きました。また、職員間での飲食等についても制限してきました。そのことで職員間のコミュニケーションが十分にはかれず、相談・指導機能がマヒして中途離職に結びつくケースも見られました。

日本ユニットケア推進センターのリーダー養成研修の受入が昨年8月から始まりました。隔週ごとに3名程度の研修生が訪れ、常に緊張した中での業務が続いています。しかし、そのような環境下で業務を行うことが当施設のレベルアップに繋がっています。このノウハウを活かしながら更に質の高いサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

## 1. 法人活動報告

### 1) 理事会開催状況

#### ○第1回理事会

##### [開催日時]

期日：令和5年6月3日（土）14時00分～16時00分

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

##### [報告事項]

- ①業務報告
- ②令和4年度社会福祉法人敬愛会社会福祉充実残額について

##### [協議事項]

- ①令和4年度事業報告及び決算報告の承認について
- ②社会福祉法人敬愛会定款一部改定について
- ③認知症対応型共同生活事業運営規程一部改定について
- ④任期満了に伴う理事及び監事推薦候補者について
- ⑤坂元英俊評議員退任申し出に伴う後任候補者について
- ⑥令和5年度社会福祉法人敬愛会役員報酬総額案について
- ⑦令和5年度定期評議員会招集事項について

#### ○第2回理事会

##### [開催日時]

期日：令和5年6月24日（土）15時30分～16時00分

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

##### [協議事項]

- ①理事長並びに業務執行理事の選任に関する件

#### ○第3回理事会

期日：令和5年11月28日（火）

開催方法：新型コロナウイルス感染症予防のため社会福祉法第45条の14第9項が準用する一般社団法人及び一般財團法人に関する法律第96条及び定款第26上第2項の規定に基づく決議の省略

##### [報告事項]

- ①業務報告
- ②令和5年度上半期事業実績報告
- ③令和5年度中間決算書
- ④令和5年度中間監査報告

##### [協議事項]

- ①令和5年度收支補正予算の承認について
  - ・施設会計令和5年度第1次補正予算案
  - ・ユニット型施設会計令和5年度第1次補正予算案
  - ・デイサービス会計令和5年度第1次補正予算案
  - ・ヘルパー会計令和5年度第1次補正予算案
  - ・居宅支援事業会計令和5年度第1次補正予算案

- ・グループホーム会計令和5年度第1次補正予算案
- ②社会福祉法人敬愛会就職支度金貸与規程に関する件

#### ○第4回理事会

期日：令和6年2月24日（土）

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

##### [報告事項]

- ①業務報告
- ②令和5年度宮崎県指導監査報告

##### [協議事項]

- ①令和5年度補正予算案に関する件
  - ・本部会計第1次補正予算案
  - ・施設会計第2次補正予算案
  - ・ユニット型施設会計第2次補正予算案
  - ・デイサービス会計第2次補正予算案
  - ・ヘルパー会計第2次補正予算案
  - ・グループホーム会計第2次補正予算案
  - ・居宅支援事業会計第2次補正予算案
  - ・地域包括支援事業会計第1次補正予算案

#### ○第5回理事会

期日：令和5年3月25日（土）14時00分～15時30分

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

##### [報告事項]

- ①業務報告
- ②令和6年度介護報酬改定について

##### [協議事項]

- ①令和6年度事業計画案について
- ②令和6年度収支予算案について
- ③社会福祉法人敬愛会介護保険事業運営規程一部改定に関する件
- ④令和6年度職員人事について

#### 2) 評議員会開催状況

##### ○第1回定期評議員会

期日：令和5年6月24日（土）14時00分～15時30分

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

##### [報告事項]

- ①令和4年度社会福祉法人敬愛会社会福祉充実残額について
- ③評議員選任について

##### [協議事項]

- ①令和4年度事業報告及び決算報告の承認について
- ②任期満了に伴う理事及び監事の選任について

#### 3) 法人監査の実施状況

## ○決算監査

期日：令和5年5月27日（土）9時00分～17時00分

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

監査内容

- ①令和4年度事業報告
- ②令和4年度決算報告

監査委員

監事 南 伊三造

監事 新名 史朗

立会人

理事長、施設長、事務長、部長、課長、係長、主任、各責任者等

## ○中間監査

期日：令和5年11月18日（土）9時00分～17時00分

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

監査内容

[経理執行状況]

- ①令和5年度上半期予算執行状況
  - ・月次試算表(令和4年4月～9月)
  - ・介護保険事業実施状況(令和4年4月～9月)
- ③令和5年度上半期経理事務執行状況
  - ・通帳、小口現金出納簿
  - ・会計伝票
  - ・証憑関係
  - ・契約関係書類

[事業実施状況]

○事業計画実施状況

○業務関係記録の検査

○ヒアリング

[人事関係]

- ④雇用関係書類
- ⑤給与台帳
- ⑥雇用状況

監査委員

監事 南 伊三造

監事 新名 史朗

立会人

理事長、施設長、事務長、部長、課長、係長、主任、各責任者等

4) 研修会参加状況（別紙）

2. 令和5年度施設整備・設備整備状況

1) 設備等整備

- ・駐車場用地購入（施設会計）
- ・車両購入 2台（施設会計、デイサービス会計）
- ・電気温水器取り替え工事2カ所（施設会計、ユニット型施設会計）
- ・空調機器取り替え工事（施設会計）（
- ・フードプロセッサー（ユニット型施設会計）
- ・パソコン4台（ユニット型施設会計、デイサービス会計、グループホーム会計）
- ・タブレット入力システム（デイサービス会計：宮崎県介護ロボット導入支援事業）
- ・褥瘡予防マット（グループホーム会計）
- ・車椅子体重計（施設会計）

3. 令和5年度決算報告（別添）

4. 令和5年度介護保険事業等実績（別紙）

5. 事業別運営状況

## 5. 事業別運営状況

### 1) 介護老人福祉施設特別養護老人ホームきりしまの園

#### 空床型短期入所生活介護事業所 特別養護老人ホームきりしまの園

3月末現在の入居者数は30名で男性6名、女性24名となっている。平均年齢は男性が83歳9ヶ月、女性が93歳2ヶ月で、平均在園年数は2年11ヶ月となり前年度に比べてやや長くなっている。障害高齢者日常生活自立度は判定基準B以上が87%、認知症高齢者日常生活自立度については、日常生活に支障を来すような症状・行動があるランクⅢ以上の中・重度者が87%、平均要介護度が4.4となり、前年度に比べて重度化が進んでいる。また、介護度の上昇に合わせて医療的ケアを必要とする入居者が増加傾向にあり、受診者数、入院者数共に前年度を大きく上回り、年間延べ利用者数は前年度に比べて77人減少した。その結果、稼働率は93.2%となり前年度を1.3ポイント下回った。一方、入院に伴う空床ベッドを活用してのショートステイ利用者を積極的に受け入れたことで、長期・短期を含む全体の稼働率は96.7%となり、事業活動収入は143万円の増収となった。事業活動支出は人件費並びに電気料、食材料費、消耗品等の高騰に伴い、前年度に比べて302万円支出増となった。駐車場用地購入、車両及び器具の購入、空調機器改修費用等施設整備関係に約460万円を要したことから、当期資金収支差額（営業収入から営業経費を差し引いた額）はマイナス430万円となった。事業の収益を示す当期活動増減差額は72万円で、利益率は0.2%となり辛うじて収益を確保した。

### 2) ユニット型介護老人福祉施設きりしまの園

#### ユニット型短期入所事業きりしまの園

3月末現在の入居者数は30名で男性4名、女性26名となっている。平均年齢は男性が84歳6ヶ月、女性が91歳4ヶ月で、平均在園年数は2年11ヶ月となり前年度に比べて4ヶ月短くなっている。障害高齢者日常生活自立度は判定基準B以上が80%、認知症高齢者日常生活自立度については、ランクⅢ以上の中・重度者が66%でほぼ前年度並となっている。平均要介護度は4.06でやや重度化が進んでいる。前年度に比べて入院者数が減少したことから、年間延べ利用者数は前年度に比べて134人増加した。稼働率は94.3%となり1.3ポイント上昇した。前年度新型コロナ感染症の影響を受けて大幅に利用者数が減少した短期入所生活介護事業は、介護支援専門員を中心となって圏域内の医療連携室、居宅支援事業所への訪問や情報提供を密に行なったことで、前年度に比べて延べ利用者数が391人増加し、稼働率は107%となった。結果、事業活動収入は前年度に比べて1023万円の増収となった。事業活動支出については、給食材料費、医薬品費、研修研究費、修繕費等の高騰により199万円の支出増となった。施設整備関係で空調機器改修費用、固定資産物品購入等により92万円を要したことから、当期資金収支差額（営業収入から営業経費を差し引いた額）は1358万円となり、大幅な増収となった。事業の収益を示す当期活動増減差額は1475万円で利益率は6.58%となった。

特養全体の収益率は4.02%で適正な収益を確保できた。人件費率は71.42%で前年度を1.5ポイント下回る結果となった。

### 3) 通所介護事業（きりしまの園デイサービスセンター）

利用者の家庭内における感染は散見されたものの、早期に予防対策を講じたことからセンター内の二次感染には至らなかった。コロナ感染症による影響は殆ど見られず、延べ利用者数は前年度に比べて 736 人増加し、1 日あたりの利用者数は 24.5 人となった。延べ利用者数は、令和 1 年度の利用者数を 351 人上回り、コロナ感染症発生前の状態まで回復している。また、利用者のうち介護給付サービス利用者が大幅に増加したことから、事業活動収入は前年度に比べて 912 万円の増収となった。事業活動支出では、職員の中途離職後の欠員補充が十分にできなかつたことで人件費が約 300 万円減額となった。施設整備関係では、令和 5 年度 I C T 導入支援事業補助金を受けてタブレット式記録システムの導入、送迎車両の更新、パソコン購入などにより 277 万円を要した。当期資金収支差額（営業収入から営業経費を差し引いた額）は 1358 万円で大幅な増収となった。事業の収益を示す当期活動増減差額は 1429 万円で利益率は 16.01 % と高い値となった。

#### 4) 訪問介護事業（きりしまの園ヘルパーセンター）

感染予防対策を講じたことからコロナ感染症による影響は見られなかつた。実績拡大を目標に掲げて地域医療連携室や居宅支援事業所への訪問活動に取り組んだが十分な成果を上げるまでには至らなかつた。利用実人員、延べ派遣日数共に更に前年度を下回り厳しい状況が続いている。事業活動収入は前年度に比べて 144 万円の減収となつた。事業活動支出はほぼ前年度並みで当期資金収支差額（営業収入から営業経費を差し引いた額）はマイナス 416 万円となった。事業の収益を示す当期活動増減差額はマイナス 416 万円で收支状況は更に悪化している。団塊の世代の人たちが後期高齢者となり、介護を必要とする高齢者も急増する中で、ホームヘルプサービスの需要が高まるのは明らかである。第一次産業が基幹産業である当圏域においては、低額の年金收入で生計を立てている人も多く、入居施設に入ることが困難なために在宅で生活せざるを得ない要介護高齢者が潜在していることは明らかであり、本サービスはそのような方々の生活を支えるためのセーフティーネットであり、事業を継続していくことが本法人に課せられた責務である。次年度においては、居宅支援事業所や地域包括支援センター、民生委員等との連携を図りながら訪問介護事業の理解と周知に取組まなければならない。

また、永年の課題であるヘルパーの確保については、新聞広告やハローワークでの求人活動などに取り組んではいるが、全く成果がみられない。次年度においては求人活動を更に強化するとともに、行政や関係機関等への働きかけを進めていく。

#### 5) 認知症対応型共同生活事業（グループホームむつみ）

3月末現在の入居者数は 18 名で男性 2 名、女性 16 名となっている。平均年齢は 91 歳 8 ヶ月で、平均在園年数は 7 年 3 ヶ月となっている。特養入居者と比較して平均年齢はほぼ変わらないものの、特養の 2 年 11 ヶ月を大きく上回っている。入居者一人あたりの平均入院日数は 6 日で、特養の 19 日に比べて少ない状況がみられる。障害高齢者日常生活自立度は判定基準 B 以上が 78 %、認知症高齢者日常生活自立度については日常生活に支障を来すような症状・行動があるランク III 以上の中・重度者が 55 %、平均要介護度が 3.5 となっている。これらの数値から入居者の心身状況は比較的安定した状況にあるといえる。延べ利用者数は前年度に比べて 259 人増加し、稼働

率は 98.3 %と安定した。状況がみられた。事業活動収入は 7 月から食費、居住費を一部引き上げたこともあり、前年度に比べて 435 万円の増収となった。事業活動支出は前年度に比べて 325 万円減額となり当期資金収支差額（営業収入から営業経費を差し引いた額）は 154 万円となった。事業の利益を示す当期活動増減差額は前年度に比べて 796 万円の増額となったものの 110 万円のマイナスとなった。

#### 6) 居宅介護支援事業（きりしまの園居宅介護支援センター）

新型コロナ感染症について、感染症法の取り扱いが 2 類から 5 類に変わったことで徐々に制限が解除されつつある。有料老人ホーム等一部面会の制限が残るもの、地域連携室や地域包括支援センター、行政機関との連絡・相談などの業務については以前と同じような状況になってきている。ご利用者宅への訪問活動についてもスムーズに実施できるようになってきている。

居宅介護サービス計画の策定については 1 月あたり 60 件を目標取組んだ。新規契約者数は比較的安定しているが、病院への入退院により実績に結びつかないケースや特養、老健、グループホームへの入所に伴い契約解除になるケースが相当数あり、令和 5 年度における延べ契約件数は 677 件で、前年度に比べて 20 件、1 月あたりの作成数も 56.5 件と目標値を下回る結果となった。事業活動収入は 851 万円で前年度に比べて 22 万円の減収となった。事業活動支出は 855 万円でほぼ前年度並みとなった。当期資金収支差額（営業収入から営業経費を差し引いた額）はマックス 32 万円となった。また、事業の収益を示す当期活動増減差額もマックス 32 万円となった。

#### 7) 地域包括支援事業（のじり地域包括支援センター）

新型コロナ感染症が 5 類から 2 類へ移行したこと、事業形態も以前のような状況になりつつある。地域包括支援センターの中核業務である総合相談支援業務については、前年度より専任者が配置され、在宅高齢者訪問調査員との連携の下で適切な支援体制が構築され、相談件数は前年度に比べて更に増加している。権利擁護業務では 2 件の虐待案件があり、小林市長寿介護課の指導の下、被害者の安全を確保するために特養への措置入所を行った。現在では 1 名が民間の有料老人ホームに、1 名については在宅復帰を念頭においていた対応をしている。関係機関との連絡会等については殆どがオンラインでの開催となった。次年度においてはコロナ感染症の発生状況をみながら集合形式での開催に向けて検討していく。介護予防ケアマネジメント事業については、1 月あたりの平均策定数が 66 件となり前年度を 8 件上回った。生活支援コーディネーター事業については、パワーステーションやお元気クラブを中心に地域に密着した支援体制の構築に取り組んだ。後期高齢者が急増していく中で、地域包括支援センターの役割は益々多様化している。住み慣れた地域で尊厳ある生活が継続できるよう地域包括ケアシステムの充実に取り組んでいく。

## 介護保険事業実績表

[令和5年度]												[社会福祉法人 敬愛会]			
事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	摘要
従来型 介護老人福祉施設 (定員:30)	営業日数	30	31	30	31	30	31	30	31	30	31	29	31	366	延利用率:前年比:△77人 稼働率:93.2% 前年比:△1.3%
	利用実人員	30	29	31	30	29	31	33	30	30	30	30	30	30	稼働率:94% 前年比:1%増
	延べ利用者数	833	860	865	870	868	792	936	838	851	865	833	862	10,273	稼働率:94% 前年比:1%増
ユニット型 介護老人福祉施設 (定員:30)	営業日数	30	31	30	31	31	30	30	31	30	31	29	31	366	延利用率:前年比:△134人 稼働率:94% 前年比:1%増
	利用実人員	30	30	31	30	30	29	30	30	29	32	30	30	30	稼働率:94% 前年比:1%増
	延べ利用者数	819	850	857	911	907	822	882	817	833	852	851	921	10,322	稼働率:94% 前年比:1%増
通所介護事業 総合事業	営業日数	30	31	30	31	31	30	30	31	30	31	28	29	31	363
	利用実人員	55	55	61	57	57	55	55	58	61	57	56	55	55	1日平均利用者数:22.1人
	延べ利用者数	646	671	702	678	677	669	696	679	720	612	616	665	8,031	1日平均利用者数:22.1人
通所事業計	営業日数	21,53	21,65	23,40	21,87	21,84	22,30	22,45	22,63	23,23	21,86	21,24	21,45	22,12	延利用率:前年比 △82人
	利用実人員	13	13	13	14	13	12	15	15	15	10	10	11	11	延利用率:前年比 △82人
	延べ利用者数	90	80	78	79	81	70	91	83	45	49	58	69	873	1日平均利用者数:2.4人
訪問介護事業 訪問事業計	営業日数	3,00	2,58	2,60	2,55	2,61	2,33	2,94	2,77	1,45	1,75	2,00	2,23	2,40	全事業延べ利用者数:前年比:△36人増 全事業1日平均利用者数:24.53人
	利用実人員	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	29	31	31	全事業延べ利用者数:前年比:△36人増 全事業1日平均利用者数:24.53人
	延べ利用者数	68	68	74	71	70	69	70	73	72	67	66	66	66	全事業延べ利用者数:前年比:△36人増 全事業1日平均利用者数:24.53人
空床型併用 短期入所生活介護事業 (定員:10)	営業日数	24,53	24,23	26,00	24,42	24,45	24,63	25,39	25,40	24,68	23,61	23,24	23,68	24,53	空床型延べ利用者数:前年比:△499時間 稼働率:△499時間
	利用実人員	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	31	空床型延べ利用者数:前年比:△499時間 稼働率:△499時間
	延べ派遣時間数	170	196	196	174	153	224	222	220	228	195	162	172	2,312	利用実人員:前年比 △18人
訪問事業 訪問事業計	利用実人員	6	7	8	8	7	8	7	8	6	6	6	7	83	延べ派遣時間数:前年比 45時間増 利用実人員:前年比 △9人
	延べ派遣時間数	44	46	54	59	57	45	39	32	22	30	37	44	509	延べ派遣時間数:前年比 45時間増 利用実人員:前年比 △9人
	利用実人員	24	28	29	26	27	28	30	30	29	26	25	24	326	全事業延べ派遣時間数:前年比 △454時間 全事業延べ派遣時間数:前年比 △454時間
ユニット型 認知症対応型共同生活事業 (定員:18)	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	31	31	31	稼働率:△454時間
	利用実人員	3	3	2	3	4	5	3	0	3	2	2	3	3	空床型延べ利用者数:前年比:△338人増 稼働率:△338人増
	延べ利用者数	33	48	58	60	48	58	31	0	40	54	15	11	456	稼働率:△338人増
居宅介護支援事業 地域包括支援事業	1日平均利用者数	11,73	10,94	9,33	7,77	10,32	11,07	10,68	11,17	11,68	9,35	8,62	9,71	10,20	延利用率:前年比 259人増 稼働率:△259人増
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	31	延利用率:前年比 259人増 稼働率:△259人増
	利用実人員	520	557	540	548	550	540	558	508	552	558	506	543	6,480	延利用率:前年比 259人増 稼働率:△259人増
居宅介護支援事業 地域包括支援事業	1日平均利用者数	17,33	17,97	18,00	17,68	17,74	18,00	18,00	16,93	17,81	18,00	17,45	17,52	17,70	延利用率:前年比 259人増 稼働率:△259人増
	要支援事業 要支援事業 総合事業	58	56	59	59	58	54	56	58	59	55	52	53	677	延利用率:前年比 259人増 稼働率:△259人増
		59	66	67	66	70	71	62	66	66	66	66	785	延利用率:前年比 259人増 稼働率:△259人増	
		3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	33	(プラン)作成件数総計:818件 前年比:25件増	

施設外研修  
[施設事業]

研修会名	内容	日付	参加職種	人数
ユニットケア研修等事業関係者連絡会	(1)本校福祉科の概要について (2)令和5年度介護実習について (3)災害時の対応について (4)意見交換会	R5.4.25 R5.11.9	施設長、介護課長	2
小林秀峰高校介護実習連絡会	①都市市役所からのお知らせ	R5.4.28	介護課長	1
子ども食堂への贈呈式	日向市丸誠電器様より	R5.4.28	施設長、相談員	2
新規学卒求人受理説明会	②令和5年3月学校卒業者の求人・求職・就職状況及び新規学卒求人受理について (3)正しい採用・選考について (4)外国人の雇用について (5)企業と進路指導担当者と情報交換会	R5.5.19	事務長	1
日韓福祉施設交流会	・施設訪問・懇親会 等	R5.5.24	施設長、事務長	2
県栄養士会研修	定期検査・生涯学習研修会の開催について	R5.6.4	管理栄養士、栄養士 管理運営課長、 介護課長、理学療法士、 機能訓練指導員	2
自立支援セミナー	第一部 施設説明・事業所訪問・自立支援に関する個別相談会(王峰会・ときわ会スタッフ対象) 第二部 講義「自立支援の取組」等	R5.6.10	施設長、管理運営課長、 介護係長、 介護主任、理学療法士、 機能訓練指導員	8
労働保険年度更新集合受付		R5.6.13	事務別主任	1
外国人労働者受け入れ対策委員会		R5.6.20	事務長	1
県衛生管理者等交流会	1.労働衛生の現状について 2.労働災害の発生状況について 3.第14次労働災害防止計画について 4.石綿健康障害防止規則の改正について 5!STOP!熱中症クーラーウォーキャンペーン!について 6.安全衛生関係助成金等の紹介	R5.6.22	管理運営課長	1
県南ブロック特養部会 栄養士・調理員研修会	高齢者の水分管理・絶食明けと消化吸収の有用性	R5.6.28	栄養士	1
ユニットリーダー研修指導者研修		R5.7.11~12	介護課長	1
会計に関する研修会	「社会福祉法人の会計実務について」	R5.7.12	事務長、事務職員	2
諸峰商事ニユートリジョンセミナー	セミナーと展示会	R5.7.22	管理栄養士、栄養士	2
宮崎県災害時福祉支援体制整備事業説明会(Zoom)	・行政説明：災害派遣福祉チームについての基本事項 ・事務局説明：災害派遣福祉チームの活動	R5.8.1	相談員	1
社会保障制度講習会	①医健師による健康講話 (2)健康保険制度、法改正等講義 (3)年金制度、法改正等講義	R5.9.8	事務職員	1
ユニットリーダー研修指導者研修	R5.9.27~29	管理運営課長	1	
みやさき安心セーフティネット事業連絡会議(Zoom)	・事例発表・生活自立相談支援について・意見交換会	R5.9.21 R5.11.29	相談員	1
新人介護職員向け交流研修		R5.9.21 R5.12.14	介護職員	2
宮崎県新人育成担当者向け交流研修	新人職員が定着・活躍できる人材育成 働きやすい組織づくりのポイント	R5.10.3	介護主任	2
介護人材定着研修(中堅職員向け)オンデマンド	・役割を考える・視点を考える・期待を考える	R5.10.27~12.1	管理運営課長、介護係長	2
ユニットリーダー研修	くわのみみ会	R5.10.31~11.3 R5.11.21~24	介護職員	2
県南ブロック研修会	高齢者施設における食事支援セミナー	R5.11.17	管理栄養士、栄養士	2
食に携わる職員のためのユニットケア研修	・講義「ユニットケアとは何か」 ・講義「ユニットケア施設での栄養士の役割や取組を知る～ユニットケアの実践事例～」 ・講義「普段「その人らしい食べ物」の考え方	R5.11.29	管理栄養士	1
県南ブロック特養部会 合同研修会(リモート)		R5.12.13		
口腔機能向上介護予防アセスメント研修会	・RSST(反復唾液滴下テスト)概説・実習 ・オーラルデバイスコキネン概説・実習 ・口腔機能練習の実習	R5.12.20	機能訓練指導員	1
働き方改革企業支援事業オンライン研修会	ハラスマート防止(ハラハラ防止法)と女性活躍推進	R6.1.11	管理運営課長	1
認定者雇用給付金制度事務説明会	認定者雇用給付金制度改正概要など	R6.2.19	事務職員	1
小林市介護相談員活動協議会	介護相談員派遣事業について	R6.2.19	介護係長	1
ふれいの保険セミナー	社会福祉法人のリスクマネジメント～虐待防止・メンタルヘルス対策～	R6.2.22	介護副主任	1
宮崎県老人福祉サービス研究大会	・基調講演「みんなで考え方～聞くこと、伝えることを活かしたミニユニークーション」 ・分科会Ⅰ女性一人ひとりの多様な生活環境に合わせた職場づくり～人材確保・定着について～」 ・分科会Ⅱ高齢者施設における栄養ケアと食支援	R6.2.27	事務副主任、栄養士、 介護職員	3
介護現場における生産性向上推進フォーラム	・講演「令和5年度介護職員の働きやすい職場環境づくり 内閣總理大臣表彰・厚生労働大臣表彰優良賞 受賞事業所」	R6.2.27	事務長、管理運営課長	2
高齢者福祉事業経営セミナー	令和6年度報酬改定・ポイント・全国経営協会の取組	R6.3.4	施設長	1
県南ブロック特養部会及び施設長会	(1)令和6年度県南ブロック特養部会研修運営委員会実施報告について (2)令和6年度研修運営委員会(案)について (3)令和6年度研修計画(案)及び研修等割当(案)について (4)令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について (5)令和6年度互助会予算(案)について (6)輪番表改定(案)について	R6.3.11	施設長	1
宮崎県認定高齢者グループホーム連絡協議会設立20周年記念講演会	演題「笑う門にはいい介護」～笑顔第一主義の仕組み～	R6.3.16	施設長	1
介護支援専門員実務研修		R6.3.21	課長補佐	1

【居宅サービス事業】	研修会名	内容	日付	参加職種	人数
宮崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会理事会及び総会	理事会協議事項 ア、令和4年度事業報告及び決算について イ、正副会長選出について ウ、その他 総会協議事項 ア、令和4年度事業報告及び決算について イ、その他	R5.4.26	社会福祉士	1	
子ども食堂への贈呈式	日向市丸誠電器様より	R5.4.28	介護課長	1	
認知症世界の歩き方実践(対話&デザイン)ワークショップ(Zoom)		R5.5.24	包括課長、係長	2	
県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業審査会	1まちづくりオモシロ大実験！五木本松ダンボール団地 2「手をつなごう！」異世代間交流によるふるさと再発見プロジェクト 3わがまちの健康体操 4町木タカナベイカウズを守り育てる活動事業	R5.6.8	地域相談員	1	
自立支援セミナー	第一部 施設説明・事業所訪問・自立支援に関する個別相談会(王峰会・ときわ会スタッフ対象) 第二部 講義「自立支援の取組」等	R5.6.10	介護課長、GHホーム長	2	
一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会 総会・研修会	講演会「介護保険制度について」 ・成年後見制度に関する基本知識 ・成年後見申し込みに関する留意点 ・市町村申し立ての業務	R5.6.10	係長	1	
県認知症高齢者グループホーム連絡協議会	データマ「認知症高齢者グループホームにおける新型コロナウイルスクラスターへの対処法」	R5.6.24	ホーム長、副主任	2	
高齢者虐待対応基礎研修	・報告「宮崎県の高齢者虐待の状況について」 ・講義Ⅰ「高齢者虐待防止法の理解と市町村の責務」 ・講義Ⅱ「高齢者虐待対応の基本的な支援の視点」	R5.6.27	地域相談員	1	
認知症キャラバン・メイト養成研修	1オリエンテーション 2認知症サポーター～伝えたいこと 3認知症サポーター養成講座の運営方法 4事務連絡	R5.7.21	地域相談員	2	
認知症世界の歩き方実践(対話&デザイン)ワークショップ(Zoom)	ゲーム感覚で仲間と学ぼう！ ・説明「宮崎市の子ども食堂の活動について」 ・事例発表「私たちの子ども食堂」・講演「居場所としての子ども食堂」	R5.7.22	地域相談員	1	
宮崎市子ども(地域)食堂勉強会		R5.7.22	地域相談員	2	
令和5年度自殺対策に係る看護師等専門研修会 自殺予防研修会	・話題提供「宮崎県の自殺の現状」 ・講演「自殺予防のための気づきとアセスメント」、「自殺予防の基礎と対応」症例編」	R5.7.22	地域相談員	1	
地域福祉コーディネーター養成研修について		R5.7.24 R5.8.28	地域相談員	1	
地域包括支援センター職員基礎研修	1「地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステム」と「地域包括支援センターの概要」 2総合相談支援業務 3包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 4権利擁護業務 5自立支援に資する介護予防ケアマネジメント	R5.7.28~8.31	介護支援専門員、 サービス計画担当者 地域相談員	3	
老サ協通所介護部会	協議事項・令和5年度通所介護研修会について	R5.8.2	介護課長	1	
主任CM更新研修		R5.8.18 R5.9.15 R5.10.2	主任CM	1	
認知症地域支援推進員研修新任者研修(web)	1オリエンテーション 2 I 認知症施策の動向と推進員の理解 3Ⅲ自地域で推進員活動を展開するためニ 4 II 認知症の人との家族の地域支援体制の構築 5Ⅳ自地域で推進員活動を展開するためニ 6終了式	R5.8.22.23	地域相談員	1	
宮崎県CM協会小林支部研修	内容に権利擁護について～事例を通して考える～	R5.8.24	居宅主任	1	
地域包括支援センター職員基礎研修	演習①「地域共生社会の理念と地域づくりを担う実践者への期待」 演習②「本人・家族がいることや生きづらさを理解する」演習③「本人・家族を支えるネットワークづくり」 演習④「本人・家族を支える地域づくり(協働による社会資源の開発)」 演習⑤「研修のリフレクションとアクションプランの作成」	R5.8.28	地域相談員	1	
小林地区安全運転管理者等講習会及び定期検会	1.令和4年度事業経過報告及び収支決算承認について 2.令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (3)その他	R5.9.6	介護副主任	1	
宮崎県生活支援コーディネーター交流研修会	・行政説明「国や県における生活支援体制整備事業に関する動向」 ・講義「先進事例に関する講義」・質疑応答・グループワーク・情報交換 等	R5.9.14	地域相談員	1	
地域包括・在宅介護支援センター研究大会(オンライン配信)	地域包括・在宅介護支援センターの現在地・2040年を見据えて	R5.9.25~10.31	地域相談員	1	
地域共生社会推進研修(包括的支援体制推進)	・講演「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築と地域づくり・参加支援」 ・実践報告(包括的支援体制づくりに向けた取組み)・ヒアリングタイム等	R5.9.28	看護師	1	
県西在宅緩和ケア研修会	・講演「がん患者の在宅緩和ケア～がん患者が住み慣れた自宅で過ごせるために～」 ・情報提供(がん患者支援に関する情報提供)・事例検討(未期がん患者の居宅介護支援) ・情報提供(がん検診受診向上について)	R5.10.6	看護師	2	
老サ協通所介護部会セミナー(オンライン研修)	・株式会社サニサン 老サ協アドバイザリーテーマパーク元気の里・都城	R5.10.13	居宅課長	1	
介護予防ケアマネジメントアドバイザーパートナードバイザー研修会	・講義「介護予防ケアマネジメントの基本的な考え方」等	R5.10.19	看護師	1	
小林市子ども未来応援推進協議会	(1)第2期小林市子どもの未来応援推進計画にかかる事業の進捗状況について (2)子どもの貧困に係る令和5年度の取組について (3)令和5年度に向けた意見交換	R5.10.31	介護課長	1	
包括的人材育成研修会 相談支援科	今後求められる相談支援と具体的な事例検討	R5.11.2	地域相談員	3	

認知症地域支援推進員研修現任者研修	[1日目] I. 認知症施策の動向と推進員の役割の確認 II. 活動成果の確認と共有 *「わたしの活動PRシート」をもとに III. 成果をみ出すための工夫と実際 [2日目] IV. 地域の課題の整理と解消に向けた具体策の検討 V. 活動計画の立案・共有 VI. 活動企画の全体共有・発信	R5.11.16~17	包括センター長	1
	I. 行政説明「チームオレンジについて」 2.講義【カリキュラム I・II・III】 3.事例発表【コミュニケーションからチームオレンジへ】(2)小林市版 チームオレンジ 立ち上げ経緯と取組について	R5.12.7	地域相談員	1
チームオレンジコーディネーター研修	自殺者を一人でも減らすために私達ができること 重層的支援に向けた相談援助コミュニティソーシャルワーク編 県老サ協通所介護研修会Ⅱ(WEB) 子ども・保護者支援のための研修	R6.1.12 R6.1.15 R6.1.16 R6.1.24	地域相談員 地域相談員 居宅課長 居宅課長	1 1 1 1
宮崎県生活支援コーディネーター交流研修会	・講義「人1人の行動が地域を変える」 ・グループワーク・情報交換 「第1回交流研修会で得られた多くの市町村に共通する課題解決につながる意見交換を行ふ」	R6.2.6	地域相談員	1
西諸地域在宅医療介護連携講演会	「人生の最期まで安心して過ごせる街づくり～ユニバーサル・ホスピスマインドをすべての人生のそばに～ 望む暮らしを実現するために～明るい未来に向けて、今こそ集おう～ ○○活動報告①介護支援専門員研修の見直しについて②介護予防ケアマネジメントアドバイザー派遣事業について ○基調講演 テーマ『2024年度介護保険制度改正・介護報酬改定の概要』～変革が求められるケアマネジメント～ ○セミナー「介護保険の未来を見据えたケアマネジメントの実践」	R6.2.6 R6.2.12	介護支援専門員 介護支援専門員	5 1
子どもの貧困対策人材育成研修	【小登校に向かう支援を考える】 ○希望高等学院の取組について ○精神科クリニックのフリースクール児童思春期ディケア「ふりすく」の開設 ○子ども未来応援団体 タココナメ(三段)	R6.2.12	居宅課長	1
介護予防ケアマネジメント実践者 地區別事例検討会	・模擬地域ケア会議の動画視聴・意見交換 ・模擬事例検討(ケースフラッシュアップ)	R6.2.13	サービス計画担当者	1
宮崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会 職員研修会Ⅱ	・講演「ひとりにしない」という支援 つながり続ける伴奏型支援の意義 ・事業説明 地域における公的的な取組、みやざき安心セーフティネット事業について 事務報告「小林市における重層的支援体制整備事業の取組状況」 講演「やりつけない」の会議からアクションへつながる会議へ！	R6.2.14	地域相談員	1
多機関協働研修会議	自殺対策研修会 小林市介護相談員活動協議会 宮崎県老人福祉サービス研究大会	R6.2.14 R6.2.15 R6.2.19	介護支援専門員 介護支援専門員 介護係長	2 1 1
令和5年度孤立死防止連絡会議	・第1部講義「孤立死及びセルフ・リスクト傾向にある人の支援について～連携・協働による孤立死防止～」 ・第2部報告「県内における高齢化の現状及び孤立死防止等の取組みについて」、 孤立死防止連絡会議～情報共有・意見交換	R6.2.29	介護支援専門員	1
県西ブロック令和5年度定期会 「事業者による高齢者・障害者に対する虐待検証のための第三者委員会ガイドライン」に関する研修 認知症本人ミーティング・視察について	1.県西ブロック定期・研修について 2.意見交換 ～高齢者・障害者虐待に対する第三者委員会のあり方について～ 1.AR体験・事業説明 2.本人ミーティング参加 3.事後打合せ	R6.3.1 R6.3.13 R6.3.15	GHホーム長 包括センター長 地域相談員	1 1 2
宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会設立20周年記念講演会	演題「笑う門にはいい介護」～笑顔第一主義の仕組み～ ①第1部 小林市自立支援型介護予防これまでの取組とこれからの展望 ②第2部 令和6年度に向けた各種事業の説明	R6.3.16	GHホーム長、 介護支援専門員	2
自立支援型介護予防事業説明会 令和6年度介護報酬改定説明会(Zoom)	・講義「介護報酬改定を踏まえ2040年を見据えて介護支援専門員に伝えたいこと」 ・講義「令和6年4月介護報酬改定の概要(仮)」・講義「令和6年介護報酬改定解説と日本介護支援専門員協会	R6.3.21 R6.3.23	在宅介護課長 包括センター長、 介護支援専門員	1 2
宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会系中央ブロック・web研修会(県西、県南ブロック)	「身体拘束の適正化」、「高齢者虐待防止」のための研修会	R6.3.28	GHホーム長、介護副主任	3

#### 令和5年度職員研修実施状況

##### 1. 施設内研修 (全休職員研修)

日時	研修名	内容
R5.5	人権擁護・虐待に関する研修会	虐待未然に防ぐ為に
R5.6		
R5.8	事故防止・感染予防研修会	各感染症の対応について
R5.11	接遇研修	施設内でのシミュレーションに応じた対応の仕方
R6.1	認知症について(Web)	BPSD・施設の理念・基本方針
R6.3	2024年度事業方針	各部署より重点点等

##### (その他)

日時	研修名	内容